

授業のタイトル(科目名)	授業の種類	
ソーシャルワーク実習指導	印刷教材 面接授業(スクーリング)	
時間数 印刷教材時間数:243時間(課題提出回数:3回) 面接授業(スクーリング)時間数:9時間		必修科目
【授業の目的・ねらい】		
① ソーシャルワーク(精神保健福祉士)実習の意義について理解する。 ② 精神疾患や精神障害のある人のおかれている現状を理解し、その生活の実態や生活上の困難について理解する。 ③ ソーシャルワーク(精神保健福祉士)実習に係る個別指導及び集団指導を通して、精神保健福祉士が行うソーシャルワークに係る知識と技術について具体的かつ実践的に理解し実践的な技術等を体得する。 ④ 精神保健福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を習得する。 ⑤ 具体的な実習体験を、専門的知識及び技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を涵養する。		
【授業全体の内容の概要】		
精神障害者の状況を理解し、精神保健福祉士として求められている知識、技術、関連知識について理解を深め、現状と課題について整理する。以下に掲げる事項を含め、ソーシャルワーク実習で必要とされる知識・技術等について準備教育を行うとともに、実習中、実習後を通して適切なタイミングにてスーパービジョンを実施する。 ① ソーシャルワーク実習とソーシャルワーク実習指導における個別指導及び集団指導の意義 ② 精神保健医療福祉の現状(利用者理解を含む。)に関する基本的な理解 ③ 実際に実習を行う施設・機関・事業者・団体・地域社会等に関する基本的な理解 ④ 精神疾患や精神障害のある当事者の語りに触れる体験 ⑤ 現場体験学習及び見学実習 ⑥ 実習先で必要とされる精神保健福祉士としてのソーシャルワークに係る専門的知識と技術に関する理解 ⑦ 精神保健福祉士に求められる職業倫理と法的責務に関する理解 ⑧ 実習における個人のプライバシー保護と守秘義務の理解(精神保健福祉士法及び個人情報保護法の理解を含む。) ⑨ 「実習記録ノート」への記録内容及び記録方法に関する理解 ⑩ 実習生、実習担当教員、実習先の実習指導者との三者協議を踏まえた実習計画の作成 ⑪ 巡回指導(訪問指導、スーパービジョン) ⑫ 実習記録や実習体験を踏まえた課題の整理と実習総括レポートの作成 ⑬ 実習の評価全体総括会		
【使用テキスト・参考文献】		【単位認定の方法及び基準】
最新 精神保健福祉士養成講座8 「ソーシャルワーク実習指導・ソーシャルワーク実習(精神専門)」 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集 中央法規出版		次の各項目の総合評価による ・所定回数の課題提出およびその評価 ・面接授業(スクーリング)への全時間出席 ・実習記録の提出およびその評価 ・実習指導者の評価ならびに担当教員による評価